

黄色ブドウ球菌由来のメタロプロテイナーゼ

Cat. No. NATE-1617

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 メタロプロテイナーゼ、またはメタロプロテアーゼは、触媒メカニズムに金属を含むプロテアーゼ酵素のことです。これの例として、胚発生中の筋細胞の融合に重要な役割を果たすメルトリンが上げられます。このプロセスは筋形成 (myogenesis) として知られています。ほとんどのメタロプロテアーゼは亜鉛を必要としますが、一部はコバルトを使用します。金属イオンは三つのリガンドを介してタンパク質に配位されています。金属イオンを配位するリガンドは、ヒスチジン、グルタミン酸、アスパラギン酸、リジン、アルギニンで占めることがあります。第四の配位位置は可逆的な水分子によって占められます。EDTAのようなキレート剤で処理すると、完全な不活化が起こります。EDTAは、活性に不可欠な亜鉛を除去する金属キレート剤です。また、キレート剤オルトフェナントロリンによっても阻害されます。

用途 構造および酵素学的研究に使用される酵素。疎水性のP1'残基に占める好みを持つサーモリシンに似た特異性。

別名 オレオリシン

製品情報

由来	黄色ブドウ球菌
形態	20 mM Tris/HCl pH 7.8から凍結乾燥され、5-10 mM CaCl ₂ を含んでいます。
EC番号	EC 3.4.24.29
CAS登録番号	39335-13-2
分子量	28000
純度	> 95 % (SDS-PAGE)

保管・発送情報

保存方法 -15 °C から -25 °C で